

つなぐ ~未来へ



日本の真ん中、
人が真ん中！
中央市



中央市市章



緑は「大地と青葉」、橙は「太陽」、青は「空と清流」をイメージし、恵まれた自然を表し、中央市の「中」の文字を基調に「実り豊かな生活文化都市」を象徴的に表現しました。

中央市市民憲章

中央市は、実り豊かな生活文化都市を目指しています。わたくしたちは、長い歴史と自然の恵みにはぐまれた郷土を愛し、心温かく希望にあふれるまちを築くため、ここに市民憲章を定めます。

- 一、緑豊かな自然を守り、
やすらぎのまちをつくります
- 一、文化と伝統に誇りをもち、
未来を拓くまちをつくります
- 一、元気に働き、
豊かで活力あるまちをつくります
- 一、地域の輪を広げ、
笑顔のまちをつくります
- 一、心と体を鍛え、
まごころあふれるまちをつくります



市の木
桜



市の花
れんげ草



市の鳥
しらさぎ

中央市市勢要覧 2026

お問い合わせ
中央市未来戦略部政策秘書課
〒409-3892 山梨県中央市白井阿原301-1
TEL 055-274-8512 FAX 055-274-7130
URL <https://www.city.chuo.yamanashi.jp/>
発行 中央市役所 令和8年2月





発刊にあたって

中央市は平成18年(2006年)2月20日に、玉穂町・田富町・豊富村の2町1村が合併し、令和8年2月には大きな節目となる市制施行20周年を迎えることができました。

今日の本市の繁栄は、郷土の礎を築いていただいた先人の皆さま方は無論、市民の皆さま方お一人おひとりのご支援、ご協力により成し遂げられたものと、心より感謝を申し上げます。

本市は山梨県の中央に位置し、良好な住宅地の整備による都市化の推進と里山や多くの河川などの豊かな自然環境を持ち合わせるなかで発展を続けてまいりました。

また、中部横断自動車道の山梨・静岡間の全線開通、新山梨環状道路をはじめとする幹線道路網の他、リニア中央新幹線山梨県駅に隣接する本市は、今後とも交通の要衝として更なる発展に向けた大きな可能性を秘めております。

この20周年を契機に、本年を未来につなぐ新たなスタートの年と位置づけ、誰もが住みたくなる、住んでよかったと思える希望に満ちたまちづくりを進め、本市の目指すべき将来像である「実り豊かな生活文化都市」の実現に向け取り組んでまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

中央市市長 望月 智



つなぐ ~未来へ

「人とひと」、「想いとおもい」をつないだ20年。
これまでの20年を共に称え、祝うとともに、
次の20年に向けて、私たちの歩みはこれからも続きます。
過去から現在、そして未来へ。「つなぐ」



想いをつなぐ

トップアスリートとして活躍中の平野美宇さんと、鷹木信悟さん。「夢」に向かって走り続けた日々を振り返るとともに、ふるさと中央市への想いを語っていただきました。



平野 美宇さん

2000年生まれ。
小学校1年生で全日本選手権(パンビの部)の女子シングルスで優勝。
2017年全日本選手権で史上最年少優勝、アジア選手権でも金メダルを獲得。
2021年東京五輪、2024年パリ五輪では、女子団体で銀メダルを獲得した。
所属:木下グループ



鷹木 信悟さん

1982年生まれ。
市川高校卒業後、トレーナー専門学校、アニマル浜口ジムを経て、2004年ドラゴンゲートでデビュー。2018年より新日本プロレス所属。武骨でパワフルな肉弾ファイトと饒舌なトークを武器にトップ戦線で躍動するほか、ラジオパーソナリティやYouTubeパーとして活躍中。

Contents

03	特集	想いをつなぐ
04		プロ卓球選手 平野 美宇さん <small>市民栄誉賞</small>
06		プロレスラー 鷹木 信悟さん <small>ふるさと大使</small>
		中央市出身の著名人から
08		東北大学 特別荣誉教授 中沢 正隆さん <small>市民栄誉賞</small>
09		プロサッカー選手 須貝 英大さん <small>ふるさと大使</small>
10		アナウンサー 伊藤 舞さん <small>ふるさと大使</small>
10		女子プロサッカー選手 大久保 舞さん <small>ふるさと大使</small>
11		アーティスト はっとりさん <small>ふるさと大使</small>
12	中央市総合計画	実り豊かな生活文化都市 ~今をつなぐ
13		1 賑わいと交流の生まれるまちづくり
14		2 安心して健やかに暮らせるまちづくり
15		3 誇りと愛着の持てるまちづくり
16		4 安全で快適な住みやすいまちづくり
17		5 市民参加による協働のまちづくり
18	INTERVIEW	わたしたちの中央市暮らしお見せします ~人をつなぐ
20	中央市の未来	リニアは、つなぐを、つよくする。~都市をつなぐ
22	中央市の歴史	中央市20年の歩み ~つなぐ
26		観光スポット
27		イベント
28		中央市の特産品
29		中央市ガイドマップ
30	中央市議会	~二元代表制の一翼
31		中央市の日常
32		中央市暮らし便利情報・中央市の主な施設
33		お問い合わせ



中央市特別住民



ほっぺちゃん

平成カルチャーの象徴ほっぺちゃん。
令和3年5月5日認定。
チャームポイントはキラキラほっぺ、つぶらなおめめ、ぷにぷにボディ。
趣味はかざりのリボンをたくさんあつめること。



とまチュウ

中央市商工会キャラクター
中央市のあるトマト農園で生まれた、
トマトの妖精。令和7年6月9日認定。
体重トマト3個分。
得意技は「投げキッ Chu!!」
好きな食べ物は「青春のトマト焼そば」。



プロ卓球選手
平野 美宇さん
市民栄誉賞

ずっと応援してくれている

田富北小学校の同級生。

勇気や元気をもらっています

私は、3歳から小学校を卒業するまで、田富町で育ちました。たくさん思い出がありますが、なかでも心に残っているのが、田富北小学校での6年間です。50人ほどの同級生は男女関係なく仲が良く、特に低学年の頃にはみんなよく遊びました。高学年になると卓球の試合で忙しくなり学校を休むことが増えたのですが、クラスメイトのみんなが「試合、頑張つてね」と声をかけてくれたり、休んでいた間の勉強を教えてくれたりして、応援してくれました。

中学からは東京へ行きましたが、離れてからも田富北小学校のみんなは変わらずずっと応援してくれていて、17歳で初めて世界選手権でメダルを獲ったときは、同級生全員のメッセージが書かれた大きな額で祝福してくれましたし、パリ・オリンピックのときは、田富北小学校でのパブリックビューイングにたくさん同級生が集まって応援してくれました。試合前で緊張していた私にも、みんなが「頑張れ！」と笑顔で応援するビデオを送ってくれたので、私も思わず笑顔になり、リラックスして試合に臨むことができました。

中央市は、私の原点。

卓球を通して得た貴重な経験を、

市民のみなさんにも伝えていきたい

卓球を始めたのは3歳です。はじめは母が運営する「平野卓球センター」で同年代の子と練習していたのですが、全国大会で勝てるようになってからは、高校生や一般の方に練習相手をお願いするようになりました。強豪校の男子卓球部に混ざってもらったり、一般の部の優勝者に卓球センターに来ていたりすると、本当にたくさんの方にお世話になりました。山梨の卓球界を牽引する錚々たる方々が、小学生の私を受け入れ、教え導いてくれたからこそ今の私がある。とても感謝しています。

オリンピックに2度出場し、メダルも獲得できて、子供の頃からの夢が叶いました。今は、私に憧れて卓球を始めたと言ってくれる子もたくさんいるので、彼らに恥じないよう、自分を律しつつ目の前の試合を全力で戦う毎日です。

卓球は、年齢や性別に関係なく一緒に楽しめる素晴らしいスポーツです。卓球のおかげで得た財産を中央市のみなさんに伝えたいし、ゆくゆくは卓球を好きになってもらえるような活動もしていきたい。そしていつか、中央市が「卓球のまち」になったら、とても嬉しいなと思います。



プロレスラー
鷹木 信悟さん
ふるさと大使

プロレスラーという夢を見つけ、そこに向かってがむしゃらだった日々

3人兄妹の末っ子としてわんぱくに育ち、小学3年から兄の影響で野球を始めました。当時の少年団では、地域の方々が野球を教えるだけでなくいろんな機会も提供してくれていて、その一つが、6年生の時に連れて行ってもらったプロレスです。巨体のレスラーがさまざまな技を繰り出しながら本気でぶつかり合う光景に圧倒されると同時に、多くの方々が熱狂し喜ぶ様子に感動して、格闘技に興味を持つように。もともとあった「強くなりたい」という思いもさらに強くなり、田富町役場で教えてもらった若尾先生を訪ねて合気道を習うようになりました。

田富中学では、野球部に所属する傍らダンベルを持参して体を鍛え、玉穂の宮澤道場で念願の柔道も始めました。将来を意識したのもその頃です。中学2年の進路希望調査で、第一から第三志望までプロレスの団体名を書いて提出したところ、先生から「どうやったらプロレスラーになれるか調べてごらん」と。当時はインターネットなんて無かったから図書館を回り、田富町立図書館でようやく見つけた本で、プロレスラーへの道筋を知りました。

真剣に闘う姿を通して、「気合と根性」を伝えていきたい

現在は国内最大団体「新日本プロレス」に所属し、東京ドームをはじめ全国で年間約130試合をしています。山梨でもほぼ毎年開催していて、あたたかい応援をいただいています。特に2012年の最初の興行では集客が心配されるなか、同級生が中心となって実行委員会を組織してくれ、決起集会に100名近くが集まってくれた。とても嬉しかったですね。みんなで県内をくまなく宣伝して回ってくれたおかげで大盛況。無事成功しただけでなく、その流れは今も続いていて毎回超満員。僕自身もいつも以上に気合が入り、最高のパフォーマンスを披露しています。

僕が夢を叶えることができたのは、知らなかった世界と出会うチャンスがくれたり、突拍子もない子どもの夢にちゃんと向き合ってくれたりした、地域のたくさんの大人の存在があればこそと、改めて感謝しています。1日でも長く勇気や元気を与えられる最高の試合をするともに、闘う姿を通して、これまで培ってきたことであり、僕自身が生きる上で最も大事だと信じてもいる「気合と根性」を伝えていく。それが、今僕にできる恩返しの一つなのかなと思っています。

市民栄誉賞
東北大学
特別荣誉教授

中沢 正隆さん

1980年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。
トムソンサイエンス・テクノロジーによる2006年のノーベル賞の受賞予想の有力候補者に選ばれ、その後毎年有力候補者として名が上がる。
2010年 紫綬褒章受章
2021年 中央市市民栄誉賞受章
2023年 2023 Japan Rising (日本国際費)を共同受賞

特別寄稿 豊富の思い出

私は昭和27年の9月に豊富村木原に生まれました。当時は養蚕が盛んで我が家もお蚕さん中心の生活でした。父と母は朝4時ごろ起きて、桑切りに行つて一仕事してから僕らと朝食をとっていました。子供心に大変な仕事だと思っていた。母は冗談に、お蚕さんを踏まないようにね、一匹10円だよ、と言っていました。大きくなつてから、当時は養蚕の値段が良かったので子供たちを大学にやるのが出来たと話してくれました。その母も今年98歳です。私は特段勉強が出来たわけではなかったのですが、理科と数学はこのほか好きで、小学校から高校までなぜかしら先生方にかわいがつてもらった覚えがあります。小学校の頃は勉強はそちのけで、山にアケビを取りに行つたり、川で泳いだり、釣りを

したり、プラモデルを造つたりしていました。小学校卒業の時、先生に何かプレゼントをしようということで、お金のない僕ら（よく遊んだ3人組）が考え付いたのは、さうだ釣りをして、それをてんぷらにして、先生にあげようということでした。先生にこれをどうぞというのと、小学生が作った川魚のてんぷらです、これ大丈夫とさぞ困つたことだろうと今でも思い出します。

大学に入つてからはレーザーという光を出す装置に興味を持ち、それ以来大学院、電電公社・NITの研究所、東北大学と光通信に関係する仕事について50年以上になります。いつも学生には、研究や技術開発には好奇心・情熱・強い意志が重要であると話しています。自分の半生を振り返つてこの3つが私を支えてくれている気がします。

中央市は市制20周年を迎えますが、山梨は空が青く高く、富士山や雪の南アルプスの白根山（北岳）など山々はとてもきれいです。この住みやすい環境のもと、市を造つたときの理念を皆で大事にして、次の20年に向けて頑張つて頂ければと思います。



市民栄誉賞
ふるさと大使
プロサッカー選手

須貝 英大さん

須貝英大選手は山梨県中央市出身。中央市立三村小学校、玉穂中学校を経て、浜松開誠館高校、明治大学に進学、大学サッカーで注目を集めました。2017年にはU-19全日本大学選抜に選ばれ、2018年・2019年には総理大臣杯・全日本大学サッカートーナメントで連覇、高い実績を残しています。2020年9月にヴァンフォーレ甲府でプロデビュー。2022年にはクラブ史上初となる天皇杯 JFA 第102回全日本サッカー選手権大会優勝に貢献しました。この偉業に対し中央市では、中央市市民栄誉賞を授与いたしました。スポーツでの活躍のみならず、地域への貢献と市民への夢や希望を与えた功績が高く評価されました。

2023年シーズンにはキャプテンに就任。2023年7月にはJ1の鹿島アントラーズへ完全移籍。さらに2025シーズンからは京都サンガF.C.に所属し、現在は背番号22でリーグ戦に臨んでいます。ポジションは主にディフェンダー（サイドバック）で、攻守両面でバランスの取れたプレーが持ち味です。

中央市では2021年度に創設された「中央市ふるさと大使」の第1号として2022年4月に須貝選手を委嘱し、本市の魅力発信にご協力をいただいています。市内の小・中学校を訪れ講演やサッカーの指導、小学1年生にえんぴつセットのプレゼントをいただくなど児童・生徒との交流も盛んです。





ふるさと大使
アナウンサー
伊藤舞さん

伊藤舞さんは、山梨県中央市出身で、現在株式会社福岡放送（FBS）に所属する人気アナウンサー。中央市立田富南小学校、田富中学校へ進まれ大学を卒業後、2007年に福岡放送に入社し、ニュース、バラエティなど幅広い番組で活躍を続けています。「めんたいワイド」「地元検証バラエティ 福岡くん。」など福岡の番組に出演。さらにウェブメディア「ARZNE」のアンバサダーとして、ファッションアイテムのプロデュースなども手掛け、アナウンサーの枠を超えて多彩な活躍を見せています。

中央市では2024年5月に伊藤さんを「中央市ふるさと大使」に委嘱。伊藤さんから、「大好きなふるさとである中央市に恩返しさせていただく機会をいただき、本当に嬉しく思います。離れたからこそ感じるふるさとの魅力をしっかりとPRし、福岡と山梨・中央市の架け橋となるべく頑張ります！」と大使就任のメッセージをお寄せいただきました。

2026年2月22日開催の中央市市制施行20周年記念式典において司会進行を務められます。



ふるさと大使
女子プロサッカー選手
大久保舞さん

大久保舞選手は、山梨県中央市出身の女子プロサッカー選手。中央市立田富小学校・田富中学校を経て、静岡県の藤枝順心高等学校に進み、女子高校サッカーの舞台で活躍しました。

その後、2015年岡山湯郷BFCに入団、プロキャリアを開始。2017年には伊賀FCくノ一、さらに2018年にはジェフユナイテッド市原・千葉レディースで経験を積みました。

2019年からはAC長野パルセイロレディースに加入。MFとして右足を利き足に持ち、「長短のパス」「鋭いミドルシュート」「視野の広さ」などが持ち味です。

2022年には、チームのキャプテンに就任。安定したプレーとリーダーシップで、チームの中核として牽引しました。2024年夏に一度現役を引退。しかし同年11月、バニーズ群馬FCホワイトスターへの加入という形で現役復帰を果たし、再びグラウンドに戻っています。



ふるさと大使
アーティスト
はっとりさん

はっとりさんは、山梨県中央市の出身。中央市立三村小学校、玉穂中学校と進み、2012年、音楽大学在学中に「マカロニえんぴつ」を結成。全員が音大出身というバックグラウンドを活かし、はっとりさん自身のエモーショナルな歌声と独創的な言葉選び、キーボードやギターを交えたバンドサウンドで、唯一無二の世界観を築いてきました。バンドはメジャーシーンでも高く評価され、2021年には日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞。以降、映画CMタイアップやライブ活動などを通じて全国にその名を知らしめています。

中央市では、はっとりさんを2025年4月「中央市ふるさと大使」に委嘱。市制施行20周年記念事業の一環として、はっとりさんが作詞・作曲した楽曲「青春と一瞬」(2019年リリース)を、記念事業のテーマソングに選定。2025年9月3日から期間限定で、市内全域の防災行政無線で夕方5時のチャイムとして流すこととなりました。さらに、市内の小中学校の校内放送や、市役所庁舎などでも流れています。

はっとりさんからは、「故郷の5時のチャイムに自分の歌が使われる日が来るなんて、思ってもみませんでした。ここ中央市で感じた『青春』も詰まった歌です。大好きな地元を夕焼けと溶け合ってくれたら嬉しいです」というコメントを寄せていただきました。



中央市の中学生が、市制施行20周年記念式典でテーマソング「青春と一瞬」を演奏します。

マカロニえんぴつは私たちの間でも人気のバンドですし、はっとりさんは尊敬する中学の先輩。そうした方の曲を、中央市市制施行20周年記念式典という晴れの舞台で、田富中学校の吹奏楽部と一緒に演奏させてもらえることは光栄で、とても誇らしく思います。

今回演奏する「青春と一瞬」は、私たちの日常を切り取ったかのような歌詞が印象的な美しい曲です。演奏は難しく、なかなかうまくいかないこともありましたが、みんなで励まし合いながら練習を頑

張ってきました。田富中学校との合同練習では、互いに刺激し合い、高め合うことができたように思います。

大切な式典での大役です。緊張しますが、部員一同心を一つに合わせ、みなさんの心に響くような演奏ができたかと思っています。



玉穂中学校2年
吹奏楽部部長
磯部 真菜美さん

賑わいと交流の生まれるまちづくり



本市は、山梨ビジネスパークや国母工業団地、山梨県食品工業団地といった産業集積や、県内唯一の卸流通団地である山梨県流通センターが立地するなど、地理的条件を活かした商工業の発展が進んできました。近年は商工業ともに市内の事業所数は減少傾向にあり、市内雇用の維持や地場産業の支援が必要となっています。

一方で、農林業においては、従事者の高齢化や担い手の育成など、第1次産業を取り巻く環境が以前にも増して深刻となっております。農業振興や地域を活性化させる対策が必要となっています。

また、これまでの「道の駅とよこみ」を核とした観光振興に加え、新たな交流人口の確保策としての魅力ある観光資源の発掘と活用が求められています。

リニア中央新幹線の開業を見据えて、将来にわたって活力のあるまちを持続するため、商工業・農林業の振興と活性化、豊かな地域資源を活かした観光の創出に取り組み、賑わいと交流の生まれるまちをつくります。



- ① 地域経済の充実と発展**
 - 力強い工業の振興
 - 多様な商業・サービス業の振興
 - 企業誘致・立地の推進
 - 雇用環境の充実
- ② 強みを活かした農林業の推進**
 - 地域の特性を活かした農業の振興
 - 地域農業を支える体制づくり
 - 森林管理と利活用
 - 農福連携を基軸とした農業振興
- ③ 魅力ある地域観光資源の活用**
 - 魅力ある観光拠点の整備
 - 農林業と連携した観光の推進
- ④ リニア中央新幹線開業に向けて**
 - リニア中央新幹線を活かしたまちづくり
 - 計画的な土地利用

第2次中央市長期総合計画

実り豊かな生活文化都市
～今をつなぐ

「実り豊かな生活文化都市」はすべての市民が豊かで快適な生活を送ることを目指して掲げる中央市の将来像です。その将来像を現実のものにするため、第2次中央市長期総合計画を策定しました。この計画の中で、まちづくりの基本方針として5つの「まちづくり」を基本政策に掲げています。



安心して健やかに暮らせるまちづくり



今後予測される人口減少を少しでも緩やかなものにするためには、出生率の向上を図るとともに、若年世代を中心とした移住・定住施策を進めていく必要があります。そのため、妊娠・出産・子育てまでの包括的な支援を充実させ、子育てしやすく、若者が住みたくなるようなまちづくりに取り組みます。一方で、高齢者に対しては、いつまでも住み慣れた地域で健康で生き生きと暮らせるまちづくりを、また、介護が必要になった高齢者や障がい者に対しては、必要なサービスを必要な時に提供できる福祉が充実したまちづくりに取り組みます。



1 安心して出産・子育てができるまち

- 魅力ある子育て環境の整備
- 子育て支援サービス等の充実
- 親と子どもの保健福祉体制の整備

2 高齢者や障がい者にやさしいまち

- 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進
- 介護サービスの充実と計画的な介護保険事業の推進
- 障がい福祉サービスの充実

3 健康で元気に暮らせるまち

- 医療保険財政の健全化
- 健康づくりの推進
- 医療・福祉への相談体制の構築



誇りと愛着の持てるまちづくり



情報活用能力の向上や理数教育・外国語教育の充実など、子どもたちを取り巻く教育環境は日々変化しており、それらに対応した教育体制の整備が必要となっています。

また、近年は地域における伝統や文化に関する教育、道徳心を重んじた教育など豊かな心を育む教育の充実が求められています。そのため、本市の未来を担う子どもたちの多様な可能性を伸ばし、ふるさとに誇りをもち心豊かでたくましく成長できるように、教育環境の整備を推進します。

さらに、市民一人ひとりが地域の歴史・文化・自然に触れ、地域を深く知り、理解することで郷土への愛着が持てるように、地域の歴史・文化の継承や保護を図り、市民が生涯を通して学ぶことができる環境づくりを図ります。



1 未来を担う人材の教育・育成

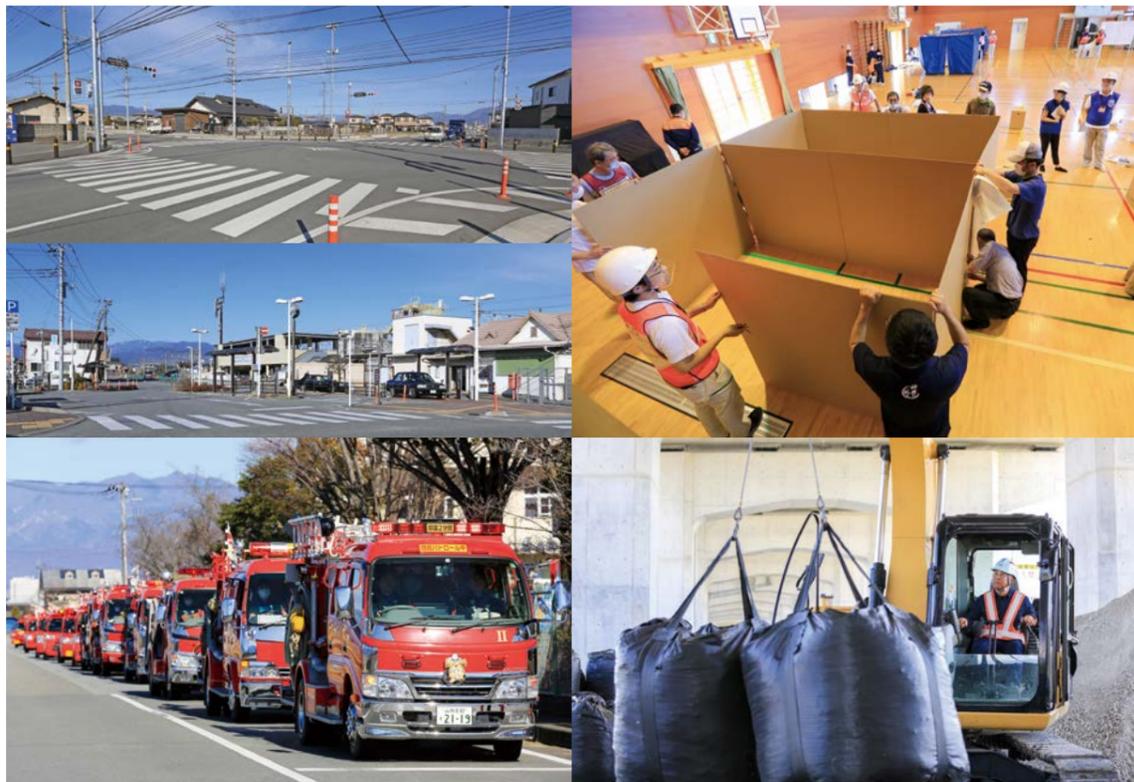
- 学校と家庭と地域の連携強化
- 質の高い教育環境の構築
- 「食育」への取り組み
- 学校施設の整備推進
- 市の独自性のある教育の推進

2 生涯を通して学ぶ社会の推進

- 生涯学習の推進
- 生涯スポーツの推進
- 歴史・文化の継承と文化財の保護・活用
- 図書館活動の推進



安全で快適な住みやすいまちづくり



これまでに本市では、JR駅の周辺整備や市営コミュニティバスの運行などの公共交通機関に関する施策や計画的な土地開発などについて、市民との協働により取り組んできました。しかし、これらの施策については、重要度が高いという認識の一方で、満足度が低いといった市民の声もあり、市民の視点に立ったまちの整備が必要となっています。

また、地球温暖化や大気汚染などの環境問題が地球規模で広がり、人々の暮らしの中でも環境に関する意識は年々高まっており、それに伴う環境志向のライフスタイルに適合する施策の推進が求められています。

市民が快適で住みやすいまちづくりを目指して、交通環境の整備や景観に配慮した土地利用による住環境の充実を進める一方で、豊かな自然を守るために、生活環境の保全や資源循環型社会の推進に取り組みます。

近年、全国各地で発生する地震や局地的な豪雨などの自然災害、交通事故や犯罪のニュースが後を絶たず、安心した生活環境に対する市民の関心が高まっています。

本市では、市民・事業者・関係団体との連携を進め、災害に強いまちづくりや防犯対策、交通事故対策に取り組みます。

① 暮らしやすい交通環境の整備

- 道路交通の利便性の向上
- 公共交通機関の利便性の向上

② 快適で魅力ある住環境の充実

- 信頼性の高い水道事業
- 適正な生活排水処理の導入
- 魅力ある住空間の創出
- 住環境の充実(公営住宅、空き家対策)

③ 環境に配慮した地域社会の実現

- 生活環境の向上
- 循環型社会の確立

④ 安全で安心して暮らせるまち

- 防災・消防体制の充実
- 自主防災組織の活性化
- 耐震化の推進
- 交通安全・防犯対策の推進



市民参加による協働のまちづくり



地方分権が進展し、市民と行政の良好なパートナーシップのもとに、地域が自主性、主体性を持った多様なまちづくりを行っていくことが求められている一方で、厳しさを増す財政状況のなか、多様化する市民ニーズに対応した行財政運営をどのように行うかが大きな課題となっています。

本市では、市民と行政による双方向での情報の共有を進めるとともに、自治組織の活性化に対する支援を推進し、市民が主役のまちづくりを展開していきます。

さらに、事務事業の評価・見直しや定員管理の適正化、公共施設の整理統合など行財政改革の質的向上により、限られた予算を効率的・効果的に配分し、市民ニーズに対応した行財政運営を展開します。

また、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みや、国際交流の充実を図るなど、市民とともにつくるまちづくりを目指します。



① 市民が主役のまちづくり

- 住民参加のまちづくり
- 男女共同参画社会の推進

② 多様な文化との共生と交流

- 多文化共生施策の推進
- 国際交流の推進

③ 持続可能で効率的、効果的な行財政運営

- 行政運営の効率化
- 職員の意識改革・能力向上
- 市財政運営の健全化
- 民間活力の活用
- 市民サービスの充実と効率化
- DXの推進
- 連携中枢都市圏構想に基づく事業の推進





詳しくは
コチラから



ベストヨトミ 代表
わたなべ つかさ
渡辺 伯さん

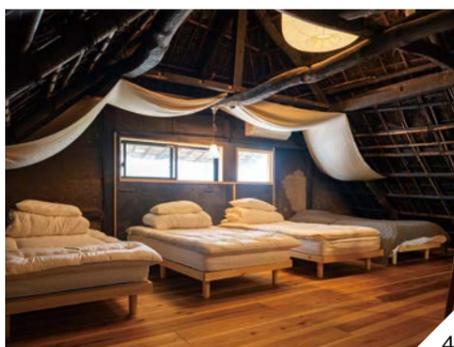
わたなべ ゆきみ
渡辺 礼実さん



2



1



4



3

1. 親子連れも多い収穫体験。数か所の畑を巡りながら、豊富な歴史についても紹介している。2. お二人が育てる彩り鮮やかな野菜の数々。収穫体験で「初めて見た!」と驚くお客さんも多い。3.4. 養蚕農家の趣を色濃く残したゲストハウス「紡」の客室。

生まれ故郷の豊富で 夢を紡ぐ

大学進学を機に故郷を離れ、ワーキングホリデーを活用しての海外生活や他県での観光業など豊富な経験を積んできた渡辺伯さんが、奥様と共に夢を追う舞台に選んだのは、生まれ故郷の豊富でした。

わたしたちの
中央市暮らし
お見せします
~人をつなぐ

「日本の原風景ともいえるのどかな風景があつて、四季の移ろいを感じながら自分のリズムで暮らしていける。豊富は本当に良いところだと思えます」と語る渡辺伯さん。2021年に生まれ育った豊富地区にUターンし、奥様の礼実さんと共に、観光農園「ベストヨトミ」と古民家ゲストハウス「紡(つむぐ)」を営んでいます。

八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳など錚々たる山々に臨み、眼下に甲府盆地が広がるのどけいのは、かつて養蚕農家だった時代には渡辺家の先人たちがお蚕の餌となる桑を育て、祖父母の代で廃業してからは伯さんの両親が兼業農家となつて守ってきた大切な場所。現在は伯さんと礼実さんがその思いをつなぎ、年間70〜80種類の野菜を栽培しています。

「豊富の名産でもあるトウモロコシ(ゴールデンドラッシュ)をメインに多品目栽培をしていて、収穫体験に来られた方により楽しんでもらえるよう、黄色や紫色の人参、形や色の異なるナスといった普段目にするのではないような野菜も育てています」と伯さん。お付き合いのある飲食店から、見たことも聞いたこともない野菜を「作ってくれないか」と頼まれることもあるそうで、「そんな時は、まずは一度、挑戦してみることにしています。土に恵まれてはおかげでしょうか、不思議となんでも作れちゃうんですよね」と、こともなげに話します。

常時5〜6種類の野菜の収穫体験と、収穫した野菜でのバーベキューを提供するベストヨトミとゲストハウス「紡」の運営、加えて、道の駅や飲食店への卸販売やマルシェなどへの出店、インターネットでの直売と、忙しい毎日を送る伯さんと礼実さんですが、その表情は生き生きとしていて、日々の豊かな暮らしをうかがわせます。

「僕たちは、ここでの滞在や体験を通して何かのきっかけを与えることができたらと思っています。この仕事を始めました。ここで過ごした方が、農業や食、田舎の暮らしに興味を持ってくれたり、どこかで農業を始めたりしたら嬉しいし、この辺りにも耕作放棄地や空き地がいっぱいあるので、それらを利活用して何かを始めたいという人が現れたら最高ですよ」と伯さん。そのためにも、訪ねてもらいたいと、SNSで地域の様々な情報を発信してきました。今後はさらに、周辺の農家や行政、観光業を営む知人らとも連携してツアーを企画するなど、新たな挑戦もしていきたいと意気込むお二人。穏やかな笑顔を、柔らかな秋の日差しが優しく包み込んでいました。

中央市まちづくりアクションプラン

本市では、リニア中央新幹線を最大の契機ととらえ、開業による様々な波及効果を最大限享受するため、「中央市まちづくりアクションプラン」を策定しました。本プランでは、まちづくりの目指す姿を「交流」、「暮らし」、「活力」の視点から【交流と活力が織りなす彩り豊かな「産業未来都市」】を「都市中央市」をまちづくりのコンセプトとして掲げています。このコンセプトは、市内における田園風景や360度広がる里山、四季折々の眺望など恵まれた自然環境を「彩り豊かな」と表現し、様々な企業の参入による産業の振興を基盤とした将来への発展と未来へと繋ぐ持続可能なまちづくりに対するメッセージが込められています。

「中央市まちづくりアクションプラン」を着実に前へへと進め、本市が目指すまちづくりの実現に向けて取り組んでいきます。

交流と活力が織りなす彩り豊かな「産業未来都市」中央市

交流が生む彩り

民間活力の導入も見据え、地域のシンボルとなる交流機能を核に、周辺との機能連携・相互補完によるにぎわいと交流を生み出すまちづくりを目指します。



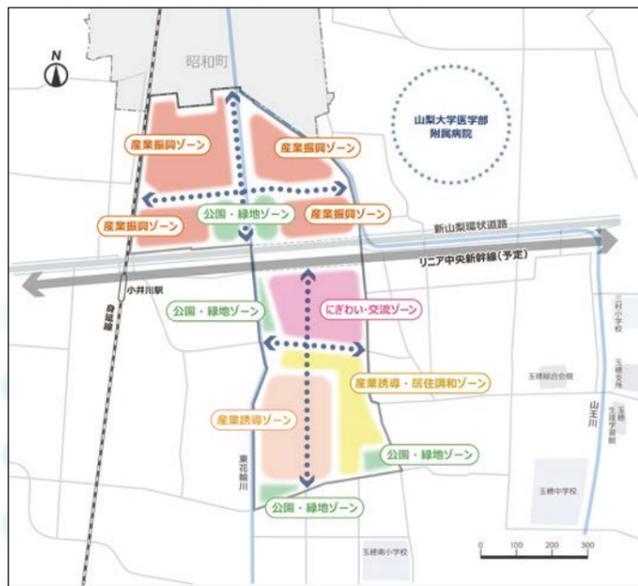
活力が生む彩り

リニア山梨県駅と山梨県の米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ「Nesrad(ネスラド)」との間に位置する立地ポテンシャルを活かして、周辺の工業団地とも一体となった産業振興のまちづくりを目指します。

暮らしが生む彩り

山梨大学医学部附属病院と連携し、医療意識の高揚を図ることによる健康づくり、田園や山並み風景とも調和した環境形成による心の安らぎ、脱炭素社会への貢献による持続可能な未来への安心を築くことで暮らしの満足感を向上させ、市民のウェルビーイングを高めるまちづくりを目指します。

山梨大学医学部附属病院周辺エリア(Aエリア)



リニア中央新幹線山梨県駅(仮称)エリア(Bエリア)



凡例	ゾーン名	主なまちづくり方針	凡例	ゾーン名	主なまちづくり方針
	にぎわい・交流	幹線道路沿いである特性や既存市街地との連担性を考慮して、日常的な利用や交流人口の拡大を促す商業・レジャー機能を誘導するゾーンなど		産業誘導・居住調和	既存集落との調和を図りながら、企業ニーズにより産業の誘導を図るゾーン(都市計画法第34条条例の予定指定区域)
	産業振興※Aエリア	山梨大学医学部附属病院に隣接する立地特性から、主にメディカル・ライフサイエンス系の産業振興を促すゾーンなど		流通・物流	山梨中央ロジパークと連携した流通・物流ゾーン
	産業振興※Bエリア	南側に位置する山梨ビジネスパークや山梨中央ロジパーク、北側に位置する国母工業団地との連担性を考慮した産業振興を促すゾーンなど		リニア	リニア中央新幹線の保守基地などとして計画されているゾーン
	産業誘導	企業ニーズや周辺の開発需要に応じて産業の誘導を図るゾーン		公園・緑地	地域住民の交流を促すとともに、公園、緑地、雨水抑制施設の整備を検討するゾーン(ただし、開発需要、事業手法に応じて整備位置を検討)
				主要道路	



リニア中央新幹線は、東京―大阪間を、日本独自の技術「超電導磁気浮上方式」を用いて時速500キロメートルで結ぶ、まったく新しい新幹線です。品川駅まで25分、名古屋駅まで45分という速さでの移動が可能になります。

リニアは、つなぐを、つよくする。都市をつなぐ

リニア中央新幹線の開業は、山梨県駅に隣接する中央市に多大な効果をもたらすと期待されます。

駅周辺の整備により、地域経済の活性化と雇用の創出が見込まれ、国内外からのアクセスが格段に向上するため、大都市圏企業の研究開発拠点やサテライトオフィスの誘致にも繋がり、新たな産業の集積や多様なビジネス機会の創出が期待されます。

人の流れにおいても、大きな変化が生じます。大都市への通勤・通学が現実的な選択肢となることで、中央市は「都市部へのアクセスの良さ」という新たな魅力を獲得し、「二地域居住を検討する層や、ゆとりある住環境を求める子育て世代などの定住人口の流入が見込まれます。これにより、若年層を含む多様な人材の集積が期待されます。また、ビジネス客や観光客といった交流人口の増加は、地域コミュニティの活性化や文化交流の促進にも繋がり、大都市圏と地方の新たな関係性を構築する契機となります。

地理的優位性を活かした「広域交流拠点」として、中央市は持続可能な発展を遂げるポテンシャルを秘めています。

リニア中央新幹線が開業すると

2015	平成27年	2014	平成26年	2013	平成25年	2012	平成24年	2011	平成23年	2010	平成22年	2009	平成21年	2008	平成20年	2007	平成19年	2006	平成18年			
12月13日	3月3日	11月14日	4月15日	12月3日	11月18日	5月7日	3月	11月15日	2月20日	4月	10月14日	7月21日	4月22日	3月14日	2月20日	8月	4月	12月1日	5月23日	5月21日	4月9日	2月20日

コミュニティバスの愛称が「とまちユウバス」に決定
「た・から」来館者150万人達成

山梨県の観測史上最大を記録する積雪(114センチ)
中央市長に田中久雄氏就任(3期目)
中央市ブランド米「富穂」が第46回山日YBS農業賞の奨励賞受賞

東花輪駅前リニューアル
第28回国民文化祭やまなし2013
中央市主催事業を開催
浅原橋(新橋梁)開通

中学校3年生を対象に本を贈る「卒業生ブックプレゼント」はじまる
中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」開所

市制施行5周年・市民憲章を制定
医大南部土地区画整理事業竣工

中央市長に田中久雄氏就任(2期目)
中央市教育の日(まごころの日)を制定
新山梨環状道路南部区間開通
中央市立玉穂総合会館(ドリームコア中央)完成
コミュニティバス運行開始
道の駅とよとみが、直売所甲子園2009 初代ブランドチャンピオンに輝く

小学校に入学する新1年生全員に本を贈る「新入生ブックプレゼント」はじまる
中学生海外語学研修を開始

中央市国際交流協会設立
市制施行1周年
豊富図書館オープン
「つどいの広場 笑(えみ)」開設

玉穂町・田富町・豊富村が合併し、中央市が誕生
中央市長選挙が行われ、初代中央市長に田中久雄氏当選
中央市消防団発団式
「た・から」農産物直売所オープン
市章、市の花、木、鳥を制定



とまちユウバス



観測史上最大の積雪



東花輪駅前リニューアル



道の駅とよとみ



つどいの広場 笑(えみ)



「た・から」農産物直売所

中央市20年の歩み～つなぐ

2025	令和7年	2024	令和6年	2023	令和5年	2022	令和4年	2021	令和3年	2020	令和2年	2019	令和元年	2018	平成30年	2017	平成29年	2016	平成28年		
10月1日	8月	6月9日	2月3日	11月23日	4月	7月23日	5月	8月4日	5月1日	4月29日	4月1日	3月22日	3月	4月	4月	3月	4月20日	11月3日	6月29日	5月27日	2月20日
「とまちユウ」に特別住民票交付 中央市立田富第二・第三統合保育園の建設工事に着手 AIデマンド交通「のーと中央」の実証運行開始	中央市総合防災公園竣工 中央市まちづくりアクションプラン策定 Nordisk Mountain Trail in YAMANASHI CHUOを開催	中央市立田富第二・第三統合保育園の建設工事に着手 AIデマンド交通「のーと中央」の実証運行開始	中央市総合防災公園竣工 中央市まちづくりアクションプラン策定 Nordisk Mountain Trail in YAMANASHI CHUOを開催																		

市制施行10周年
中央市山梨県人会設立
豊富郷土資料館の来館者が15万人を達成
第1回中央市ふるさとまつり開催

成島交番が開所(成島、花輪、下河東統合)

道の駅とよとみ オープン20周年
中央市長に田中久雄氏就任(4期目)
第1回桃と桜のサイクリング(リニアライドやまなし中央)開催
第1回スイートコーンマソン&ウォーク開催
中央市立玉穂生涯学習館 開館20周年

中央市農村公園 人工芝グラウンド完成
元号が「平成」から「令和」へ
中央市役所 本館 業務開始
中央市学校給食センター竣工

中央市役所南館改修工事が完成 1本庁舎2支所体制で業務開始
小井川駅前リニューアル
国内で初めての新型コロナウイルス感染者を確認
新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言

市制施行15周年
中央市立豊富小学校普通教室棟 完成
「ほっぺちゃん」に特別住民票交付
浅利与一公 没後800年

中央市立れんげ児童館 供用開始
中央市子育て支援センター 供用開始
第2代中央市長に望月智氏就任(1期目)
市道田富玉穂大津線 全線開通
玉穂B&G海洋センター リニューアルオープン
「甲府市と中央市における災害時等非常用連結管の設置に関する協定」を締結
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症に移行
中央市立田富北小学校新校舎竣工



Nordisk Mountain Trail in YAMANASHI CHUO



田富北小学校新校舎竣工



中央市子育て支援センター



中央市役所本館業務開始



第1回桃と桜のサイクリング



中央市山梨県人会設立

01 中央市ふるさとまつり 11月3日

毎年11月3日の文化の日に開催しているふるさとまつり。『子どもが集えば未来が変わる』をキャッチフレーズとして、幅広い世代のコミュニケーションの場として開催されています。市内の子どもたちが集まる「子どもみこし・仮装パレード」の会場練り歩きや、伝統・文化をテーマとした市内団体のステージ披露、豪華ゲストによるライブステージ、模擬店の出店で会場を盛り上げます！



02 春 桃と桜のサイクリング

～リニアライドやまなし中央～

中央市を起点に桃と桜が共演する満開のお花見コース。ステキな出会いが待っているサイクリングイベントです。コースは、ほどよいアップダウンが楽しめます。桃や桜の花咲き季節！特色あるエイドで食や眺望、イベントなど山梨の春をお楽しみください。



03 Nordisk Mountain Trail in YAMANASHI CHUO 秋

中央市のたいら山を舞台にしたトレイルランニング大会です。豊かな自然を駆け抜け、眼下に広がる田園風景を眺めることで、都会にはない自然環境の素晴らしさを通して、中央市の新しい魅力を感じることができます。



01 シルクふれんどりい

美肌効果のあるpH9.8の高アルカリ温泉や、地元の野菜をふんだんに使った食事が味わえるレストランのほか、工芸体験や宿泊も楽しめる複合観光施設。

住所/中央市大鳥居1619-1
電話/055-269-2280
開館時間/午前10時～午後10時
(温泉は午前11時から)
休館日/水曜日
温泉入浴料/大人 600円 子ども 310円

02 道の駅とよみ

国道140号線沿いにあり、地元の旬の野菜・農産物や特産品を販売している。

住所/中央市浅利1010-1
電話/055-269-3424
営業時間/3月～5月 午前9時～午後6時
6月～8月 午前8時～午後6時
9月～11月 午前9時～午後6時
12月～2月 午前9時～午後5時
休館日/3月～10月無休
第3月曜日(祝日の場合翌日)
年末年始
(休館日は直接お問い合わせください)



03 たから農産物直売所

穫りたて、摘みたて、掘りたて、つくりたての農作物がどっさり並ぶ。

住所/中央市臼井阿原102-1
電話/055-274-0831
営業時間/午前9時～午後5時
休館日/12月30日午後～1月4日まで
(休館日は直接お問い合わせください)



04 シルクの里公園

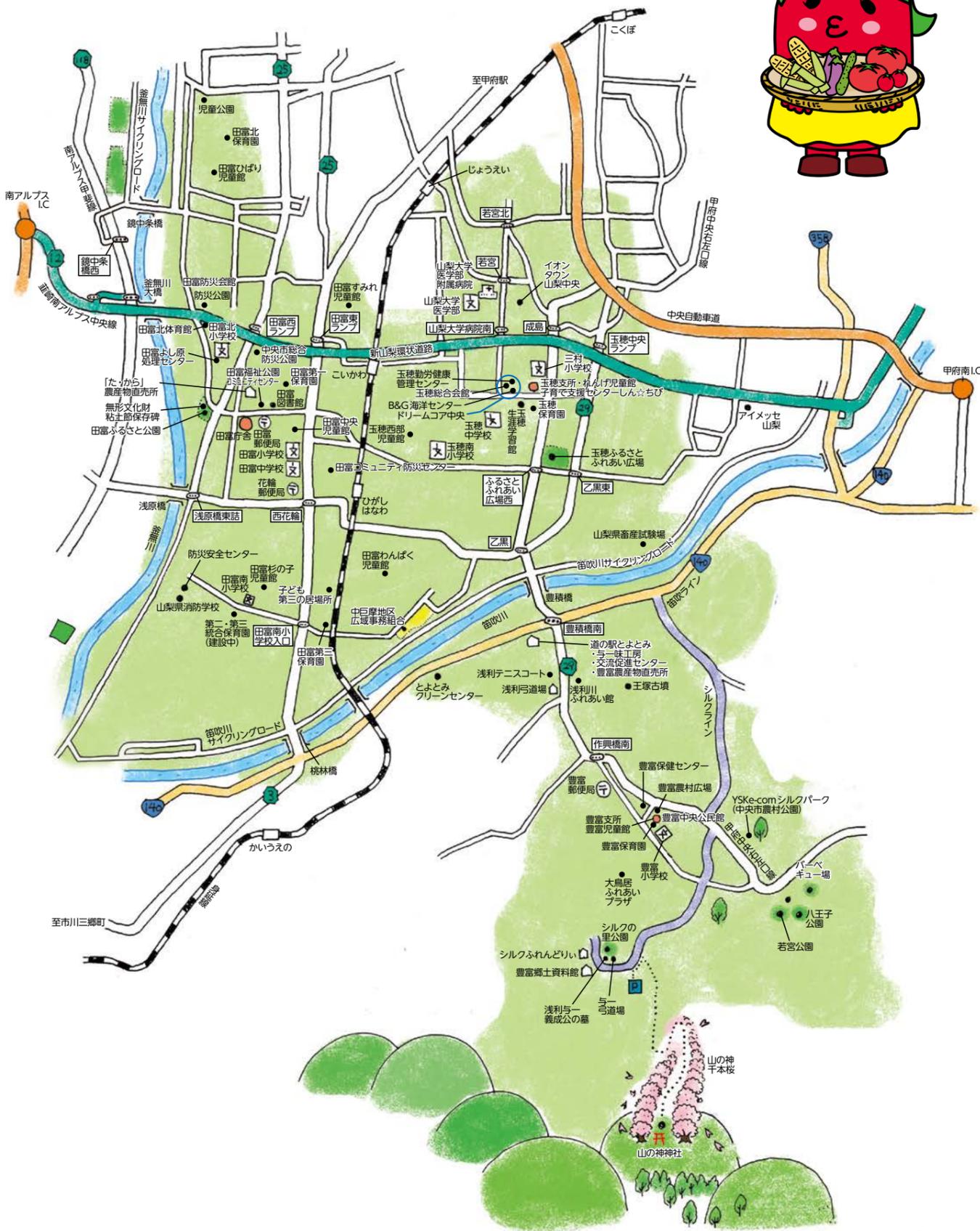
ひと際目を引く「ふわふわドーム・まゆの丘」があり、起伏に富んだ地形は散策にもほど良い入園無料の公園。

開園時間/4月～9月午前9時～午後6時
10月～3月午前9時～午後5時



中央市ガイドマップ

Chuo city guide map



中央市の特産品

太陽のめぐみがいっぱい！
中央市のおいしい特産品を紹介します。



トマト



ナス



スイートコーン
「ゴールドラッシュ」



各種フルーツ



シルクソフトクリーム



とよとみハム

ふるさと納税

「生まれ故郷や関係する地域を応援したい。」中央市では自慢の返礼品をご用意して、ふるさと納税制度を推進しています。また、本市に住民票がある市民のみみなさんには、返礼品はありませんが寄附の使い道が選択でき、通常の税控除が適用されるご寄附も推進しております。詳細は二次元コードからご確認ください。

※不動の人気No1
山梨県産フルーツ6種セット



他にも多数の返礼品があります。詳細は二次元コードをご確認ください。

中央市産の完熟トマトと

中央市産の甲州富士桜ポークで作る

絶品のトマト焼そば

青春のトマト焼そば

中央市商工会青年部の活動「トマトでまちづくり10年計画」の中から生まれたのが「青春のトマト焼そば」。ソース焼きそばに、中央市産のトマトをたっぷり使ったミートソースをかけた逸品は、昭和40年代に山梨県内で人気だった「ミート焼きそば」の復刻版です。



トマト色の旗が提供認定店目印



中央市の日常

photos of life in Chuo city



中央市の暮らしは、素晴らしい瞬間で溢れています。
そんな、素敵な時間が流れる中央市の一瞬をお届けいたします。



山本 六男 副議長



金丸 俊明 議長

中央市議会～二元代表制の一翼

開かれた議会運営で、市政の発展をめざす。

中央市議会は、選挙によって選出された18名の議員で構成される議決機関であり、年4回の定例会および必要に応じて招集される臨時会において、条例の制定をはじめ、予算や施策など、市民の暮らしに関わる様々な案件や請願についての審議を行っています。

議会には、議会運営委員会、3つの常任委員会（「総務教育」「厚生」「産業土木」）、議会広報編集委員会が常設されており、必要に応じて特別委員会も設置されます。

議会活動の報告は、「議会だより」を年4回発行し、市民の皆様には、審議の様子をお知らせするとともに、議会日程の詳細や議事録も市のホームページに掲載し、開かれた議会運営をおこなっています。

また、行政のチェック機能のほか、議会改革を進めるとともに、研修や市民との対話集会などを通じて、市民の声を市政に生かす取り組みを進めています。

お問い合わせ

部名	課名	業務内容	電話
未来戦略部	政策秘書課	秘書、市長会、儀礼及び式典、公平委員会、広聴広報、市長と市民の対話、総合計画、移住・定住及び空き家の利活用、ふるさと納税、行政評価、組織機構	055-274-8512
	企画課	市政全般の総合的研究・企画、指定管理、統計、国際交流、男女共同参画、市史、公共交通、リニア中央新幹線、情報化計画、電子自治体、電子計算業務の管理運営	055-274-8523
総務部	総務課 (選挙管理委員会事務局)	議案調整、例規集編さん、情報公開、個人情報保護、固定資産評価審査委員会、選挙・選挙管理委員会、保護司、行政相談、消費者行政、自治会、人事、給与	055-274-8511
	危機管理課	防災・地域防災計画、防犯、国民保護、交通安全対策、消防、水防、行政対象暴力対策	055-274-8519
	管財課	財産管理、公園維持管理、寄附採納、入札、契約、指名参加願、工事検査	055-274-8517
	財政課	予算編成・執行管理、起債、地方交付税、財政計画及び資金計画、財政状況等調査、行政改革	055-274-8513
市民部	市民環境課	住民基本台帳、印鑑登録・証明書の発行、マイナンバーカード、戸籍の各種届出・証明書の発行、埋火葬許可証の発行、環境保全対策、環境基本計画、公害対策、生活衛生、環境美化、畜犬登録・狂犬病予防、浄化槽、不法投棄防止対策	055-274-8541
	保険課	国民健康保険事業の企画運営、国民健康保険の給付、国民健康保険税の賦課、後期高齢者医療保険、国民年金	055-274-8545
	税務課	市県民税・軽自動車税・法人市民税等の賦課徴収、税務相談、固定資産税の賦課徴収、固定資産の評価、土地及び家屋名寄帳の管理、市税の収納、滞納整理	055-274-8546
福祉部	福祉課	社会福祉施策の総合的企画・調整、災害弔慰・見舞金、民生児童委員、社会福祉団体の育成指導、生活保護、日赤、遺族会、総合会館管理運営、障がい者福祉施策、重度心身障がい者医療、特別児童扶養手当、身体障がい者・知的障がい者福祉、障がい者相談支援センター、包括的支援、権利擁護中核機関、生活困窮者自立支援、配偶者暴力被害・女性相談支援、ひきこもり	055-274-8544
	長寿推進課	介護保険料賦課、介護保険認定・給付、介護保険事業計画、高齢者福祉施策、養護老人ホーム入所措置、高齢者福祉施設管理、高齢者総合相談窓口、介護予防、高齢者権利擁護、認知症施策	055-274-8556
こども健康部	子育て支援課	子ども・子育て支援施策の企画調整、児童手当、児童扶養手当、児童館、放課後児童クラブ、子ども医療費、ひとり親家庭等医療費・支援、母子生活支援施設・助産施設入所、子育て支援センター、施設管理、保育所全般及び管理運営、こども家庭センター、家庭児童相談、要保護児童等対策	055-274-8557
	健康増進課	保健に関する基本的な計画調査、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、各種検診、予防接種、献血事業、健康管理センター運営管理、保健指導、訪問指導、栄養指導、保健計画、こども家庭センター(母子保健に関することに限る。)、愛育会	055-274-8542
産業建設部	建設課	市道・河川・橋りょう及び排水路の維持管理及び工事、公営住宅の入居及び維持管理及び工事、国有財産の使用及び用途廃止等、道路台帳等の整備、市道の認定・変更及び廃止、建築確認、道路占用及び工事届、建設工事に係る資材の再資源化等、優良住宅の認定、木造個人住宅の耐震化、公営住宅の建設、空き家の適正管理、地籍調査に関する事、災害防止及び復旧、建設工事に係る登記事務、建設工事に係る用地買収、急傾斜地及び砂防に関する事	055-274-8553
	まちづくり推進課	都市計画マスタープラン、都市計画の決定(変更)、都市計画図、地区計画、景観(景観計画)、特別用途地区、都市計画施設(街路・公園の建設)、土地区画整理事業、国土利用計画、開発行為、公有地の拡大の推進に関する届出・申出、屋外広告物、企業立地、企業誘致、工場立地法	055-274-8552
	上下水道課	上水道に関する事、簡易水道に関する事 公共下水道、田富よし原処理センター、農業集落排水、とよみクリーンセンターに関する事	055-274-8554 (上水道担当) 055-274-8555 (下水道担当)
	産業課	農業委員会、農林業振興、農業振興地域整備計画、有害鳥獣、病虫害、畜産、農林道、農業用水路、農道・林道台帳、ほ場整備、土地改良、治山、観光企画・振興、イベント開催、市民保養所、商工業振興、地場産業、商工会、労働行政	055-274-8561
教育委員会	会計課	現金、有価証券の保管・管理、出納業務	055-274-8515
	議会事務局 (監査委員事務局)	本会議・委員会をはじめとする市議会の各種会議の運営、議長の秘書について、会議録等の作成、議会広報の編集、財務・行政監査、例月現金出納検査、決算・証書類等の審査	055-274-8516
教育委員会	教育総務課	教育委員会庶務、教育行政企画調整、教職員人事・服務、教育委員会予算、教育相談、教育指導、就学援助、入学・転校、区域外就学・指定校変更、学校施設の維持・修繕、学校施設の調査・計画、学校施設台帳の管理	055-274-8521
	生涯教育課	生涯学習の推進、青少年育成、公民館活動、社会教育施設の管理運営、社会教育団体、図書館、文化財、生涯スポーツの推進、社会体育施設の管理運営、社会体育団体	055-274-8522

中央市ホームページ

各種手続きの方法や、施設案内、市からのさまざまな情報をお知らせしています。

<https://www.city.chuo.yamanashi.jp/>



広報ちゅうおう

毎月1日に発行し、各自治会を通して配布しています。「マイ広報紙」、スマートフォンアプリ「マチイロ」からも閲覧できます。



Jornalzinho de MANAKA

「MANAKA」は広報ちゅうおうの内容から、外国籍住民の方に特に必要と思われる情報を、中央市国際交流協会が抜粋し、編集を行ったものです。



SNS

公式X

公式Instagram

公式LINE

公式facebook

アカウント名 山梨県中央市
ID @chuocityoffice

アカウント名 山梨県中央市
ID @chuocityoffice

アカウント名 山梨県中央市
ID @chuocityoffice

アカウント名 山梨県中央市
ID @chuocityoffice



子育て

中央市子育てサイト



中央市子育て支援公式Instagram



Main facilities in Chuo City



玉穂総合会館
中央市下河東 620
TEL:055-274-1116



中央市役所豊富支所
中央市大鳥居 3866
TEL:055-274-8583



中央市役所玉穂支所
中央市成島 2266
TEL:055-274-8547



中央市役所
中央市臼井阿原 301-1
TEL:055-274-1111(代表)



玉穂ふるさとふれあい広場
中央市乙黒 1-1



中央市総合防災公園
中央市布施 3564-1



田富図書館
中央市臼井阿原 240-1
TEL:055-274-3311



玉穂生涯学習館
中央市下河東 1-1
TEL:055-230-7300